

■「カオスを迎え撃つ！」



4月から新しい年度がはじまります。

4月は一年の節目の時。みなさまはこの節目の時をどのようにお過ごしでしょうか。節目と言えば年に3回、お正月と4月の新年度と、お誕生日を多くの方々が特に大切にされていらっしゃると思います。

中には「いや、この歳になると毎年同じことの繰り返しだから」とか「時間が過ぎるのはあつという間で、特に節目と言われてもどうということはない」といった想いを抱かれている方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、だからこそむしろ節目を大切にするという考え方もあるのではないのでしょうか。

それは、一見同じように繰り返される日々の中に隠れている小さな(時には大きな)変化を発見するために、時間の圧倒的な流れの中で忘れがちな原点の気持ちを思い出すために、過去の後悔を心に刻んで新たな生き方をはじめの区切りとするために、節目の時を大切にするという考え方です。そうすれば同じことの繰り返しに見える今この時も、より一層輝きを放つのではないのでしょうか。

わたしたち経営陣も節目の時をととても大切にしています。一年間に起こった出来事を振り返り、これは繰り返さないように改めよう、このことは教訓として未来に伝えよう、このことは未来からの新たな潮流として受け止めて新たな対策を立てよう、といった具合に、年度末が近づくにつれ、その節目の時を深く受け止める探求と対話の時間を持つようにしています。その上で、新年度の新たな経営方針を設定しているのです。

そのようにして決定された新年度の経営方針は『カオスを迎え撃つ!』です。私たちの目の前の現実を、結果が生まれる前のカオスとして受け止め、カオスに結果を与える私たちの心を変えることで現実を変えようとする発想や実践を大切にしようと考えています。

時間は圧倒的な勢いで私たちに押し寄せ、しかも目の前の現実=カオスは決して甘くはありません。しかし、そこには必ず可能性も折りたたまれています。心を研ぎ澄ませ、カオスから素晴らしい可能性を引き出していけるように、この新たな一年を大切にしまいたいと思います。そして必ず、「みんなが幸せに生きる」という経営理念に一步でも近づく、そのような一年にしまいましょう!

代表取締役社長 八木 陽一郎

